

「億り人」から一転、家庭崩壊の危機…半導体株暴落でFIREの夢を失った個人投資家の末路

※株式掲示板の文化を題材にしたフィクションです。

「働かなくても生きていけると思っていた。まさか、もう一度働くことになるとは」
そう語るのは、半導体関連株への集中投資で資産1億円を突破し、念願のFIRE（経済的自立・早期退職）を達成した40代男性のAさんだ。
かつては株式掲示板、通称「株スレ」で成功者として注目を集めていた。しかし、半導体株の歴史的な暴落によって、その生活は一変した。

半導体ブームに乗り、資産1億円を突破

Aさんが投資を始めたのは約10年前。当初はインデックス投資を中心とした堅実な運用だった。転機となったのは、生成AIの普及による半導体関連株の急騰だ。
「これからは半導体の時代。ここで勝負しなければ一生社畜だと思った」
保有していた投資信託を売却し、資金の大半を半導体関連銘柄に集中させた。
結果は大成功。資産は短期間で膨れ上がり、ついに1億円の大台を突破した。
株スレには毎日のように資産報告を投稿。「まだ働いてるの?」「労働は罰ゲーム」といった書き込みも繰り返した。
そして会社に退職届を提出。家族には「もう一生働かなくていい」と告げた。

「押し目だと思った」暴落でも売れなかった理由

しかし、幸福な時間は長く続かなかった。
半導体関連銘柄に利益確定売りが広がり、株価は急落。当初、Aさんは動じなかった。
「半導体需要はなくなるらない。むしろ買い増しのチャンスだと思っていた」
下落するたびにナンピン買いを繰り返した。だが、株価は反発するどころか下落を続けた。

時点	金融資産
FIRE達成	1億500万円
1か月後	9,200万円
2か月後	7,100万円
3か月後	4,800万円
半年後	2,300万円

※記事用の架空の資産推移

1億500万円あった金融資産は、半年後には2300万円にまで減少した。
それでもAさんは株を売れなかった。
「売ったら負けが確定する。戻るまで待てばいい」
かつて自分が株スレで嘲笑していた「塩漬け投資家」に、自分自身がなっていた。

妻の一言「あなた、いつから無職なの?」

家庭にも亀裂が生じ始めた。
退職時、Aさんは妻に「資産は十分にある」と説明していた。しかし、実際には生活費の原資となる資産が大幅に減少していた。
妻が異変に気づいたのは、子どもの教育費について相談したときだった。
「今はちょっと相場が悪いから、出費を抑えてほしい」
不審に思った妻が証券口座を確認すると、そこには信じられない数字が並んでいた。

「1億円あるって言ったよね？」
「一時的に減ってるだけだよ」
「じゃあ、いつ戻るの？」
Aさんは答えられなかった。
さらに妻から告げられたのは、厳しい現実だった。
「あなた、FIREしたんじゃないくて、ただ仕事を辞めただけじゃないの？」
この言葉を境に、夫婦の会話は激減した。

唯一の居場所となった「株スレ」

家庭での居場所を失ったAさんが向かったのは、かつて成功を自慢していた株スレだった。
しかし、そこに以前のような称賛はなかった。

【急騰】今買えばいい株・半導体反省会（架空のスレ）

184 山師さん 億り人になってFIREしたのに資産2000万になった

191 山師さん FIREじゃなくてFIREDで草

203 山師さん 退職が天井だった男

216 山師さん 1億あったならインデックスで寝てればよかったのに

228 山師さん で、明日から何買うの？

235 山師さん もう買う金ねえよ

241 山師さん 働こう!!!

「株で失ったのは金だけではなかった」

現在、Aさんは再就職活動を始めている。
しかし、長年勤めた会社を自ら退職した経緯もあり、以前と同じ待遇の職場を見つけることは容易ではない。

「一番後悔しているのは、暴落したことじゃない。1億円になった時点で、もう勝負する必要なんてなかったことです」

Aさんはそう振り返る。

経済的自由を手に入れるために始めた投資。しかし、いつしか資産を増やすこと自体が目的になっていた。

「家族と過ごす時間が欲しくてFIREしたはずなのに、今は家族と顔を合わせるのが怖い」

そう語るAさんのスマートフォンには、今も株スレが表示されている。

最後に書き込んだ言葉は、わずか一行だった。

「明日、ハローワーク行ってくる」

その書き込みには、こんな返信がついていた。

「退場してないだけ勝ち組だぞ」

Aさんは初めて、その言葉に救われたという。

編集後記：FIREとは、働かないことそのものではなく、働くかどうかを選べる自由を手に入れることなのかもしれない。相場が奪ったのは資産か、それとも自由だったのか。